

令和 4 年 8 月 25 日 議会改革特別委員会 議事録
9 時 58 分 開会

○出席委員 (7 人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、小中真樹雄、小田上尚典、北地 範久、日域 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 (1 人)

委員 原田 孝徳

○傍聴者 和田 芳弘議員、児玉 朋也議員

○網谷委員長 皆さん、おはようございます。

ちょっと早いようなんですが、皆おそろいですので、始めさせていただきます。

それでは定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会します。

今日は、原田委員のほうは、欠席の届けが出ておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事日程のほうに入らせていただきます。

日程第 1 第 2 回議員定数問題に関する全議員の意見のアンケート要請の、全議員による意見交換に伴いましての皆さんの思いを聞かせていただけたらと思います。

前回の委員会では、協議方式としましては事前通告制ということになっておりましたので、ほとんど質問という形での協議となりましたが、皆さん自分の選択理由に対し、自信を持って答えておられたことが非常によかったなと私は思います。

また、選択理由等の口頭での説明から、聞く側からもよく意図が分かり、本当にいい委員会であったと思います。ありがとうございました。

特に、委員外議員の皆さんには本当にお世話になりましたこと、お伝えいたします。

それでは、皆さんから何か感想といいますか、思いがあれば発言していただければと思います。

小中委員。

○小中委員 思いとかなんとかというか、こういうまどろっこしいことをせずに、アンケートそのもので皆さんの意見は出てるわけで、もう委員会で即採決してもいいぐらいに、私は煮詰まってると思う。

こんな意見を聞いたところで、それが何になるんかという思いは私あります。長くやって形だけ整えてもしょうがないでしょう。結論は結論なんやから。ここで何対何になるか、それでここで決まったところで、議会の議決じゃないんだから、本会議の最終日に委員長報告があって、そこで私は、議員定数削減に賛成の討論をしますので、そこでまた、賛成か反対かというのが明らかになると。

そうなれば議会だよりも、ちゃんと誰が賛成して、誰が反対したかというのが出るわ

けです。

これは、ある人にとっては次の選挙の1つの意思になるはずなんであって、こんな長々と委員会を長引かせることに何の意味があるんかと。

もう意見決まっとるんやから、委員会としての結論を私は出すべきやと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今の意見は、また後ほど議論といたしまして、皆さんほかに、何か思いがあれば答えていただければと思いますが。

小田上委員。

○小田上委員 前回質問された方がちょっと少なかったというのもあったんですけど、一番よかったと思うのは、外から見てる人がどういうふうに感じたかというところだと思います。

小中委員言われましたけど、意味がないというのはちょっと違うのかなと思ってまして、この9月の定例会である一定の方向を今の段階では出すということになってはいますが、改選後含めてずっとやっていかないといけない議論だろうというのは、ここにいる委員の皆さんもそうだと感じてると思うんですね。じゃあどこを重点的にどういう思いで取り組んで、議論していったらいいかという宿題はかなり出たように思いますんで、その整理はいつのタイミングかまだ分からないですけど、していかないといけないのかなと。

定数の話に終始したというところで、ほかにも取り組まないといけないところ、あると思いますんで、今までやってきたところ、やりっ放しもよくないので、これが9月である程度決まったということであれば、足を止めることなく、ほかのことも取り組んでいけたらなという思いは前回意見を聞いてて思いました。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

仮に結果が出たとしても、この議論は続くだろうという意味ですよね。

ほかにございますかね。

小中委員。

○小中委員 私は何でもうちちょっと一番早く定数削減に取り組んで、SNSで成り手不足は解消されるという、夢物語のようなことを2年間も延々とやってですね、定数についてが最後までぎりぎりになってされると。その当事者がこの間、長々と我々にいろいろ問い詰められたわけで、私の思いとしてはですね、本当正々堂々とやってほしかったなと。

アンケートに長々と書いてましたけど、みんな、そんな暇じゃないんやから。結論を言えということです。それを長々と書いたところで誰も読ましまへんがな。

そういうことが分かってんのかなと。長々と書いたからって偉くも何ともないし、自分はどういうふうに思ってるかということを書けばいいわけで。各地の事例研究とかっちゃうのは全然やってなくて、それをやれとか、やれ判例がどうのこうの。まず一番大事なのは、誰が賛成して誰が反対したかということであり、それを明確にしないと議会報告会で議員定数削減について取り上げたにもかかわらず、誰が賛成したか反対したか分からんような、訳の分からんような結論を出したら、ほんとに市民に笑われるというか、何のために

議会はあるんやっちゅうことになりますからね。

もう採決に踏み切るべきやと私は思います。

私ははっきり言って、12日に何をやるねんと。それについては委員長が勝手に決めただけでしょう。いつやりましょうという提案はなかったですよ。

○網谷委員長 ちょっとよろしいですか。

○小中委員 はい。

○網谷委員長 何も委員長1人で決めたいことを言われても困るんですが、初めの頃に、9月に一応結論は出せますという方向は言ったと思います。なぜ9月かといいますと、定数変更の場合もありますよね。定数の変更がある場合は、議長のほうに報告書を出して、会派の代表者会議もしなければいけないし、それから12月議会に向かって議案の上程もせないけんし、その時点ではどういうことが起こるか分かりませんので、余裕を持って10月と言いましたが、9月にさせていただいたのは私の一存でございます。

今回のこの流れですよ、このレジュメにも書いておりますが。この流れは前回の委員会の後に、正副委員長、議長、局長、4人でしっかり議論しました。後からこの流れの大体のことを説明しよう思うんですが、今委員長1人で決めたんじゃろうと言われても、ちょっと困るんですがね。

(発言する者あり)

○小中委員 委員長1人で決めたというか、前回言いませんでした、協議するか、決を採るか、発言はなかったですかね。だから9月にどうのこうの、じゃあ今決めたらええやないですか。

○網谷委員長 暫時休憩します。

10時09分休憩

10時13分再開

○網谷委員長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

それでは日程第1のほうの、皆さん意見のほうはよろしいですかね。前回の委員会については。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 それでは、よろしいということで、日程第2のほうの最終結論を決定、これが9月12日の採決までの流れとしての協議をしていきたいと思います。

先に私のほうから説明させていただきます。

前回の委員会以後、正副委員長、議長、局長で協議しました結果、前回私が説明したのと若干のずれが生じております。

まず、今日25日は、採決方法の決定ですよ。それから9月12日に議会改革特別委員会では採決を行います。それで委員長報告という関係になっていこうとは思いますが。9月16日の議会運営委員会では取扱いの決定をいただきまして、9月21日本会議最終日、委員長報告、質疑、討論、採決という流れになろうかと思えます。

あくまで予定ですから、採決を採って議員定数変更ということになりますと、また時間がぐっと延びて、採決は12月議会定例会になろうかと思えます。

ということで、今私が言ったのは予定と予想ですかね。これが今の最短の流れということですので、ここまでで何か質問があります。

どうぞ。

○日域委員 この特別委員会であることを考えて、最後ここで物を決める場じゃないと思いますけども、委員会のまとめを文書化して、これでいいですかとって皆さんの賛同を得てですよ、それがこの委員会の役割ですよ。本会議へ持って行って、残りの人たちも加えて、全員でそれをどうするかと決めるのが本会議の場でしょう。

だったらこの場に、今回長々とやってきた定数に絡む議論が、最終的な委員長報告案があつて、こんなものでどうでしょうかとここに諮られるのかなと私は思ってきたんですが、そうでもないですか。

○網谷委員長 それは今、皆さんにお諮りしたいと思ったんですがね、要するに日域委員が言われたのは委員会の中の報告書というのか、それとも今回定数問題に対する全体の報告書というのか、二通りあるんですよ。普通委員会というのは決算特別委員会でも予算特別委員会でも、また常任委員会でもですが、報告書は委員長報告は委員会の中では諮りませんよね。委員長報告は。いきなり本会議で委員長報告はしますよね。そこんところはどうかね。

どうぞ。

○日域委員 普通というか常任委員会であれば、大体議案の審議をしてますから、そこでもう決を採るわけですよ。決を採った後に、本会議でその状況を説明するのが委員長報告ですけども、ここでは何も決を採るわけじゃないから、ここであつたことをまとめないと終わりようがないですよ、この特別委員会は。

最後に、報告書というか、まとめですよ。まとめを作ってそれを反対する人がいるにしても、過半数の委員が、これでいいよねと言わないと収まらないと思うんですけども、それは今回でいえばどこでやるのかな。

本会議はいいですよ。常任委員会だったらそこで議案に対して採決すれば、それで役割は終わりですけども。ここで議論したことのまとめをこの場でして、もちろんそれを本会議でいけば残りの人がふざけるなどと言って、ひっくり返すこともあり得るわけですけども。でも、この委員会での結論というものを出不さないと変な気がするんですけど、その辺はどういうお考えなんかなと思ひまして。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今の日域委員の質問でございますが、今のまとめですよ、今回1年間やってきた。そのまとめは来月12日の採決をした後にしようか思っております。

(発言する者あり)

○網谷委員長 暫時休憩します。

10時20分休憩

10時22分再開

○網谷委員長 休憩前に引き続き、会議を続行いたします。

ちょっと勘違いが入りまして失礼しました。

正確に言いますと、さきに日域委員から言われた、今日それをすると言われるのは今日ではありません。

それから、12日にするというのは、確かでございます。というのは、12日までにはこちらで作った報告書をサイドブックスに上げまして、皆さんに修正をいただけるもんならいただいて、12日当日までには、まとまった修正を含めて提示され、それをもう一度確認していただき、皆さんに了承をいただいたその後に採決という流れになろうかと思います。

ということで、私の言い方が大分ずれとったんですが、よろしいですかね。

(発言する者あり)

○網谷委員長 原稿を作成するのは、一応今月いっぱいと考えております。できましたらサイドブックスに載させていただきます。それを見て、皆さんに判断していただきまして、修正があれば、事務局にメールで出していただき、12日までにはある程度まとまったものを皆さんに提示して、それを了承いただくという流れになろうかと思います。了承いただいた後に採決をして、次の流れに行こうかと思いますので。

小田上委員。

○小田上委員 予算特別委員会とか決算特別委員会とかですと、予算案とか決算の承認という流れで特別委員会に付託されると思うんですけど、委員長報告なんで議案ではないですよ。というところでどう取扱いになるのかというのが、説明を聞いてもまだちょっとしっくりしないところがあるなという前置きで言いたいのは、実際この委員会の中で持論として展開して行って、どちらの方向かというのはそれぞれの委員が、出てると思うんです。

ただ、起立採決なのか何か分からないですけど、この委員会の中で、確実な方法でまだ数を見たことがないんですよ。現状維持なのか、変えるのかというところの意思表示を一番分かりやすい賛成か反対かということで見ないまま、案が出てくるじゃないですか。何を基準にその案をつくられてくるのかというのはちょっと心配なんですけど。

○網谷委員長 案といいますと。

○小田上委員 報告案。例えば僕は現状維持で出していますんで、現状維持という気持ちではいますが、それをどこで判断されるのかというと、アンケートだと僕は違うと思うんですね。委員会の中で意思表示をまだしてないとかですね、してはいるけど起立なり何なりをやってないから、案をつくるまでにある程度の形がないと、皆さんがこうだったよねと納得した報告にはならないのかなと思うんです。こういう数字でしたという報告をするのであれば、その前に一旦形がないと難しいのかなと。

なので、委員長報告案が上がってきたとて、正直ここで起立も何もやってないのに実際分かんないよね。例えば委員長が削減するほうがよいと思うという案をつくってこられて、いやいや流れ、そうじゃなかったよねとか、そんなこと言ってないよとかというのはお互いにあり得るわけで、いきなり案が出てきて、それを事前に確認して修正し合って、ちゃんとまとまりつくかなという心配があります。

○網谷委員長 一応採決の前哨戦みたいのをやってほしいという意味ですか。

議長。

○賀屋議長 すみません、混乱をしているみたいなので、私のほうから簡単に話をさせてもらえればですね。今の採決についてはですね、委員長案を皆さんでもう一回見てもらって、その中で修正するところがあれば修正をし、最終的に12日に委員長案で採決をしてもらうわけです。その委員長案というのは基本的に今までの経過、流れ、その辺の事実だけを列記して、この委員会としての表明は、委員会の中の採決でこういうことになりましたというのは、現状維持が何名、削減が何名という結果になりましたと報告してもらっただけであってね、それが最終的な削減なのか、現状維持なのかは本会議にかけてもう一回決めるということになるかと思うんです。本会議に報告をする中身について、委員長報告として皆さんで見てもらったこの報告でいいよねということを受けて、最終的に委員会として採決をします。特に委員長の思いというのはその中には入ってこないと思うんで。経緯、経過だけを委員会としての議論をしましたと。

それを12日に、皆さんで採決をしてもらうわけですが、そのための委員長報告の案については事前に皆さんにお知らせをし、その修正があればメールで返してもらうと。その中で修正できるとこ、また何回かやり取りをするようになるかと思うんですけれども、最終的に12日の日までに、ある程度の絞り込みをして、採決をして、採決をした結果について最後に1行あるいは2行書き加えて、こういう結果になりましたという報告書。それを最終日に委員長報告をして、そのことに対して、質疑、討論、全員での採決ということ。

(発言する者あり)

○網谷委員長 小中委員。

○小中委員 はっきり言って順番が逆だと思います。

委員長報告っちゅうのは今まで何をやったかっちゅうだけの話だったら、それは採決の後で仕切ればええだけの話で、特別委員会での採決の結果というのが一番大事なことであって、今まで何をやってきたかというのは後でつけりゃいい話で、それは全く順序が逆やと私は思いますね。

今まで何をやったかはその記録を見てそれをつけりゃいい話で、一々これがどうのこのっちゅうのを、あえてみんなに見てもらい字が違っているとかなんとかっちゅうのは別かも分からんけど。そんなことをするよりも何が一番大事かをちゃんと分かってんのかなという、大変に私は疑問に思います。

○網谷委員長 ありがとうございました。

逆という言葉も出ましたんですが、すべきことはして、採決は最後ということが会議の流れでございますので、どこの会議でも。それはそれとして了解してください。お願いします。

小田上委員。

○小田上委員 簡単に言うと、定数維持か削減かの採決をして、プラス、委員長報告がそれでいいかどうかを決めるということですよ。

仮に、それをやるのであればですよ、今日の次第には採決を採るとは書いてないので、だって最終決定って9月12日って日程が書いてあるので、さすがにいきなり今日ここでと

というのがいいのかどうか分かりません。なので、最悪削減かどうかの採決を先にした後に、文章の提示をもらってこういう文書案ですという流れであれば、納得がいくというか、順番的にそうじゃないと、結論出てないのに報告書も書けんだろうという思いがあるんですけど、それは僕の思い違いとか考え違いですかね。間違っていれば正してください。

○網谷委員長 報告書の定義がどういうふうに、小田上委員が考えてるか分かんのですが、先ほど議長が申しましたように、今までの流れですよね。去年の9月から今までのアンケート、皆さんの発言も含めて、こうこうこうでありましたとか、経過を含めて、経過がちょっとおかしかったら、そのために皆さんに修正のための期間を置きましょうかということなんでね。

ある程度決まったもんが、12日に皆さんから了承をいただければ、その後に、採決という形を取りたいと思います。採決というのももちろん起立採決になろうかと思っています。

それで、次は議会運営委員会また本会議という流れになろうかと思うんですが、もちろん報告書は私が作成しようとは思ってます。その修正期間を1週間ぐらいは置いて、12日に臨みたいということでございます。

小田上委員が言われます、委員の中の意思表示ができてないというのが、そのところがよく分からないんですがね。

小田上委員。

○小田上委員 報告書の経緯はもういいです。書いていただかないといけませんけど、この場ではもう触れなくていいので、最終のところだけ。

委員長報告の最後に、例えばですよ、この中で現状維持すべきというところが多かった場合は、現状維持が何と何で多かったです、特別委員会としては現状維持であるという結論を得ておりますという終わり方なんだろうと思うんですね。削減すべきとなった場合は、削減すべきという結論を得ておりますという締め方になろうと思うんですよ。

なので、その場で採決すれば、1文、2文を書き加えることができるというような意図なんだろうと思うんですが、先に採決というか、先に意思表示をしておけば、そこを書き加える作業というか、普通に報告としてあった事実を書けるのかなと思うんですよ。

同じ日でもいいですよ、同じ日で。休憩してもいいと思いますし、先に意思表示があった結果、委員会としてはこういう結果になったね、じゃあ報告書の案出すよが、僕は順番としてはそうなのかなと思うんですけど、間違ってるんだったら言ってください。

それが報告書って全部終わった後のことだろうと思うんで、どうなんですか、事務局とか案も含めて、僕が間違ってたら教えてください。

○網谷委員長 間違っていないと思いますがね。今意思表示を先にするという意味ですかね。ということは、意思表示ということは、採決とは違うんですよね。小田上さんの言われる意思表示は。

(「採決」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 採決は皆さんの意見も聞かなよく分かんですがね、採決というのは、今までの流れを皆さんと共有して、これでいい、そうだったよなという全部含めて、アンケートも含めて、最後に意思表示として採決に臨むというのが、ちょっと違いますかね。

小田上委員。

○小田上委員 報告書がなくてもここの委員全員、経過は含んでと思うんですよ。なので、今まで話してきましたね、じゃあどうですかという採決を先にやって、削減なのか維持なのかという結果が出た後ですよ。それで今話してる議題では削減か維持かの結果が出たね。じゃあ委員長報告の文書はこれでいいのかねという2つ決め事があるんだったら、その順番なんじゃないんですかと思っただけなんで、この定数をどうするかという採決を先にしてほしいということです。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。私が最初に言うたのはそれなんですよ。

(発言する者あり)

○網谷委員長 採決を先にして、決まった後に、今小田上委員が言われたように、今までの報告書の確認をしていただくという意味じゃないですか。違うんですか。

(発言する者あり)

○網谷委員長 採決を先採る言われたんじゃないですか。違うのかな。

どうぞ。

○小田上委員 12日始まったら、採決をして定数現状維持か削減か、決まりますと。その結果を受けた報告書の確認を委員でします。これでいいかどうかを決めると。この手順でいいんじゃないかと思ってます。

○網谷委員長 ちょっと今を確認しますので。

(発言する者あり)

○網谷委員長 どちらにしても、その辺のところは当日でも、できんこともありませんで。結論的には、私の考えでは12日に今の報告書の了解も得て、採決もさせていただいて、一応委員会の中では決め事は決めていただきまして、それからまた手続変わってきますんで、今そこのところの話をしよるんでね。その辺のそこはもうちょっと詰めてもいいんじゃないかと思います。

小中委員。

○小中委員 今までどうだったかというのはあくまでも付け足しであって、どう決まったかっちゅうのがメインなわけであって。

結果どうなったかっちゅうのが一番大事なんであって、委員長報告がこれまでがどうだったっちゅうのは、それはそれでいいわけですよ。だけど、ここの一番の肝は何かといったら、定数を削減するかしないかっちゅう話なんだ。それがメインであるということがちゃんと理解できてるんかどうかということですよ。

○網谷委員長 もちろん、大変理解しております。

(発言する者あり)

○網谷委員長 日域委員。

○日域委員 確認を含めてですけどね、9月12日にこの改革の委員会が組んであるわけですよ。そこで決めたことをですよ、最終的にはその後の本会議でこの委員会から出たものを認めるか認めないかを諮るわけですね。

例えば9月12日に何ができてるかですよ。報告書書くときに、かなり具体的なアンケートは取ってますけども、あれはやっぱりアンケートですから、定数を増やす人、現状維持、減す人と具体的に意思表示をしてもらって決を採るということですね。それがないと、9月12日に出す報告書が書けないでしょう。9月12日の委員会の冒頭で決を採ったら、それを踏まえてその時間内に報告書を書くのかって、これも困難ですよ。

だから、今決めといて、じゃあ何対何でこうだったという、それを踏まえて今から文書作って、案をつくって、こんなになりましたけどいいですかと言って、多少の変更はあるにせよですよ、それで初めてこの委員会の報告書ができるわけですよ。そして、それを本会議に持っていかないといけないわけであって、その報告書がいいというのを9月12日に最終確定するわけですよ。

○網谷委員長　そうです。

○日域委員　そのためにはアンケートのとおりでもちろんいいんですけども、ここで具体的に委員会として一人一人のことちゃんとチェックするというか、それをしないと報告書案が書けないですよ。

だから、さっきからちょっと違ってるような気がするんですけども。この場で決めて、それで9月12日にそれを委員会で決めて、最終的に。それを次の本会議で皆さんに諮ると。そういう気がするんですが、どうでしょうか。

○網谷委員長　ありがとうございます。

小田上委員と今のは同じような感じになったんですかいね。

小田上委員。

○小田上委員　小中委員は時期というのは別として、順番として採決をして減らすかそのままだ、その後に報告書があるべきだと。日域委員もそうあるべきだというふうに言われたと思いますが、日域委員の場合はもう今日この場で採決をしてしまって、12日は委員長報告の確認作業をするべきじゃないかという話だったように思います。その流れで発言ちょっと許していただいたんで。

ただ、大変申し訳ないんですが、今日採決をするという意識で、認識を持って、そうしますよという次第で来てないので、いきなり採決になってよいものかどうかというのは感じてます。

なので、委員長報告ってほんと全部終わって全部閉会した後、委員長報告作成ですよ、基本的には。全部終わった後に作成をすべきというところは、今発言したメンバーは一緒なんだろうとは思いますが。

○網谷委員長　議長。

○賀屋議長　今の流れについて、経緯、経過については一通りもう書けると思うんですよ。最後の2行が9月12日に委員会を開いて、今回の議員定数についての委員会としての採決を、現状維持が何名、削減が何名ということになりましたので、これを報告をいたします。この2行だけ何名か、そこだけを空けて、中身は一緒なんで、それを皆さんで最初に見てもらって、これでいいですよということに決をしても同じことだろうと思うんです。先に採決をしないとその2行が書けないということでもないです。2行については何人対

何人ということがはっきり出れば、そのことを委員長報告として報告しますというだけで、ええんだろうと思うんです。

(発言する者あり)

○網谷委員長 小中委員。

○小中委員 根本的に認識がずれてますよね。

要するに何かの報告書を書く場合、結論は何かっていうんだよ。これは新聞の記事でも結論は冒頭にあって、それを後で説明する。委員会が何のためにあるかといったら、定数をどうするかというのがその問題なんであって、それを後に書いとして。

その経過なんかはみんな分かっている、ここの委員会の人間は分かっているわけだから、一々我々に了承を得んでも、時系列で書いてあるんだったらそれで十分ですよ。

だから12日やるんだったら、冒頭で賛成か反対かということをちゃんと決ま採っていたきたいと思います。

2行か3行空けとって結論を書くというのは物の考え方の順序が全く違っていると私は指摘しておきたいと思います。

○網谷委員長 もちろん12日には最初に採決採る順番になろうかと思います。その後に今まで作成しておりました報告書ですか、それを今月いっぱいぐらいにまとめて、月初めにはサイドブックスには載せて皆さんで判断していただくという流れにしようかと思っとるんですがね。

小田上委員。

○小田上委員 報告書という言葉を使うのをやめませんか。経緯をまとめると。今までの経緯をまとめたものを事前にお渡しすると。その確認をして、報告書は採決が終わった後に作ってください。ということでもいいんじゃないんですか。経緯の認識のそこがあるとまずいので、その認識は取っておきましょうというので経緯のまとめは作っていただきます。ただ、報告書ではないと。もちろん報告書は別で、全部採決が終わった後で作っていただいて、それをまた委員が確認するという作業じゃないと、最初から報告書があるというのが納得いかない部分、もちろんあるんですよ。

かつ、何対何でしたの報告じゃだめだと思うんですよ。何対何だったから何が決まったのかということも書いておかないと、委員会でこれだけ話してきたんですから、維持すべきと決しましたと報告するのか、削減すべきと決しました、この文言がないと本会議場でも討論も何もならないと思いますんで、それも入れていただいて、経緯のまとめは事前にやっておくと。経緯はまとめる宿題を各委員がやっておくということで、報告書というと先にもう全部できちゃってるイメージが浮かぶので、それでいいんじゃないでしょうか。そう思うんですけど。

○網谷委員長 まず1点が報告書をやめようと。言葉はね。

それで皆さんよろしいですか。経緯をまとめるということで。そうしますか、分かりやすうていいのはいいんですが。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 それじゃ報告書という文言は省きます。経緯をまとめるということにまずは

します。

それから今、各委員という言葉が出たんですが、どういう意味ですかね。各委員が出すんですか。

小田上委員。

○小田上委員 経緯のまとめは各委員がチェックして、この経緯間違ってるんじゃないかって指摘をするということです。

○網谷委員長 要するに、各委員でチェックをするという。

○小田上委員 そうです、経緯を。

○網谷委員長 報告書にしろ、経緯をまとめるというのはそれでよろしいかと思います。それで流れとすれば、経緯をまとめたものをサイドボックスに載せて、皆さんがチェックするという事なんで。皆さんそれでよろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 そういうふうに決めさせていただきます。

それからもう1個、先ほど私が冒頭に言いました、経緯をまとめるというのは、やはり委員長がまとめるということなんですよね。確認のために。

ということは流れとすれば、今月いっぱいぐらいにはまとめまして、月初めぐらいにはサイドボックスに載せて、皆さんがチェックしていただくということで。12日の委員会では先に採決をやって、チェックしたものをもう一度皆さんに目を通していただいて、了解していただくと。その流れということなんですかね。その場で、先ほど議長が言いましたように、あと二、三行は足すこともあるかも分かりませんが。

(発言する者あり)

○網谷委員長 小田上委員。

○小田上委員 経緯をまとめたただけなので、それは報告書ではないので、ちゃんと採決があって結果が出たら、休憩を取ってください。僕は時間が幾らかかってもいいので、休憩取っていただいて、報告書を作成していただいて、報告書を新たに持ってきてもらって確認するという作業は要るんじゃないかと思います。その1行付け加えるかどうかという言葉の意味がちょっとよく分からないので、報告書は全部決まった後に作っていただきたいと思います。事前準備がどこまでされてるかは分かりませんが、報告書は決まった後に作っていただくのが報告書なんだろうと思います。

○網谷委員長 了承しました。

私先ほど言いましたように、12日の採決の前に、今の経緯をまとめて、それを皆さんにチェックするのは12日以後にしてくださいということ。それまでに作るのは、二、三行を足すのはやめてくださいという意味。

(発言する者あり)

○網谷委員長 暫時休憩いたします。

10時55分休憩

11時03分再開

○網谷委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を続行いたします。

それでは、手順の確認をさせていただきます。

先ほどの12日の次回委員会に向けてのことですが、これから今までの議会改革特別委員会、昨年9月からの経緯をまとめることを私委員長が行うということと、遅くとも今月いっぱいにはまとめまして、サイドブックに載させていただきます。それを各委員の皆さんがチェックをしていただき、修正があれば修正を事務局のほうに申し出ていただく。それを12日までにはまとめ、12日の委員会では最初に採決といたします。

その採決の結果によって、今まで皆さんにチェックしていただいた経緯のまとめを、もう一度休憩を挟んでチェックしていただくということで。

(発言する者あり)

○網谷委員長 12日の採決までは分かりましたね。それからは休憩を挟んで報告書をチェックしていただくということでよろしいですかね。

採決した後に、休憩を取ります。その後、今までのチェックしたものは報告書ということになるかと思いますので、ちょっとややこしくなるかも分かりませんが。

(発言する者あり)

○網谷委員長 そういうことで、それを最後に報告書のチェックを了解していただくということで。

12日はそれで終わり、それを議長のほうに報告するという作業がございます。次の議会運営委員会のほうに依頼し、取扱いの決定をいただき、本会議21日の最終日に委員長報告、質疑、討論、採決という流れになるかと思います。

予定どおりでは議員定数の問題はこれで一応完了したということでございます。

よろしいですかね。

ということで、一応分かっていたいたということ、お願いします。

小中委員。

○小中委員 事務局長にちょっと確認したいんですが、ここで結論出るとしますよね。委員長報告を本会議で最終日にしますよね。そこで、議会の全体としての態度を表明するとして、またそこで採決になるということですね。

そういうことでよろしいんでしょうか。

私がなぜそれをお聞きしているかという、議員定数の問題がどういう方向に行こうとも、どの議員がどういう態度を表明したかというのが、必ず議会だよりに掲載しないと大変まずいと思いますので、透明性の観点から。

だから、それさえ保証されていれば、私は結論がどうなろうとそれはもう民主主義っちゃうか、多数決の世界なので、しょうがないと思いますけど。

だからそういう理解でよろしいんでしょうか。なら結構です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今、議会だよりという言葉が出たんですが。

小田上委員。

○小田上委員 基本的に議会だよりは主な議決事項というところで、全てが載ってないときもあるんですね。

ただ大きい事項なので賛成、反対というところは分かるようには努めていきたいと広報
広聴特別委員会委員長としては思っておりますが、委員と話しながらどのような形式でや
るか、事務局と話し合いながら、市民の方関心あるところだと思いますので、進めていこう
とは思っています。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。小中委員、そういうことでございますのでよろしく
お願いします。

日域委員。

○日域委員 要するに、私はさっきこの場で決を採れと言いましたけど、確かにそうすると
日程がないわけですから。日程を加えるということをしてしない限り無理ですからね。それは
それであんまりよろしくないだろう。

だから、決を採るのを先へ送ったわけですね。今の確かにそこで委員長報告をあらかじめ
め作っておくというのは、やっぱり順番としておかしいという小田上委員のお話があって、
確かにそうなんです。

だから、そこを無理やり2つに分けて、今までの経緯については因数分解してこっち側
だけ作っというて、最後の文は決を採った後作るのが筋だろうということで、通常とは違う
形で分けたわけですね。

だから、今回の9月12日に休憩を取ってというのもいいですけども、それはいいんです
よ。それもどうこうは言わないですけども、結局経緯はもう書いてあるわけですから、報
告書ってほんとさっきの議長の2行という話に近いんですけども、別途の経緯を踏まえて、
9月12日に決を採ったところ、こうであったと。以上、委員長報告ですと。そういうわけ
でいいわけですね。

だから、休憩もいいですけども、ほとんど時間はかからないという感じでやっていただ
きたいと思います。お願いします。

○網谷委員長 ありがとうございます。

ということで、何かほかに意見が。なければ日程2のほうはこれで終了したいと思いま
す。

そのほか、日程3何かあります。

小田上委員。

○小田上委員 次回の会期中のところの採決の結果有無によって活動は変わってくるとは思
いますが、その後も任期としてはまだ残っております。

なので、積み残しである、やりっ放しである課題というところに取り組んでいけるよう
なところを以降お願いしたいなというところですよ。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。その件については、まだ1年あるんだから。いろん
な協議をしなければならないと思います。

ほかになければ、終わらせていただいてよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

(4 . 8 . 25)

○網谷委員長 それでは、以上で議会改革特別委員会を閉会といたします。
お疲れさまでした。

11時13分 閉会